

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1年	1	選択
担当教員			
清水 真紀子			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	LG (語学・言語学)	103 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	現代社会では様々なシーンで、世界共通語である英語運用能力が求められます。この授業では英語運用能力の一つ、スピーキング力を上げることを目標としています。当たり前ですが、ピアノを弾けるようになりたい人が、毎日少しでもピアノに触れなければ上達しないように、毎日少しでも接することが、英語習得には必要です。自分の空き時間に練習を積み重ねて、スピーキング力アップを目指すため、オンライン英会話サービスを利用します。好きな時間に海外講師とのマンツーマンの相互会話環境下で課題をこなし、スピーキング力を高めましょう。まずは日本の文化や食べ物、風習などを説明できるようにしましょう。また海外講師の居住する国の文化や風習などにも触れ、異文化理解を深めます。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】オリエンテーション 授業の概要、オンライン会話サービスの登録、進め方、注意点など。成績評価、ログのつけ方、ミッドタームプレゼンとファイナルプレゼンについての説明。</p> <p>予習(時間):シラバスを読んでおく。オンライン英会話サービスの登録の仕方を見ておく。(30) 復習(時間):オリエンテーション内容の復習と参考図書から第1回トピックを選ぶ。ログをダウンロードし、つけ始める。(30)</p> <p>第2-6回 オンライン英会話実践。 毎回参考図書からトピックを選び、そのトピックについて海外講師とディスカッションをしましょう。 予習(時間):トピックを決め、そのトピックについて書かれているスピーチをあらかじめ読んでおく、CDを聞きながら話せるよう練習しておく。(30) 復習(時間):スピーチで言えなかった部分や、間違えた箇所をログにつけ記録しておく。また講師から得たフィードバックをログに記入する。</p> <p>第7回 ミッドタームプレゼン準備 第2回-第6回 のオンライン英会話実践で自分が話したスピーチのトピック、そこから得た知識や、講師から得た情報などを発表するミッドタームプレゼンの準備をします。パワーポイントでの資料作り、ドラフトを作成します。 予習(時間):ログを見て、今までの学習記録を振り返る。事前に配布される準備シートを作成しておく。(60) 復習(時間):プレゼンのリハーサルを行い何回も練習する。(60)</p> <p>第8回 ミッドタームプレゼン 第2回-第6回 のオンライン英会話実践で自分が話したスピーチのトピック、そこから得た知識や、講師から得た情報などを発表します。 予習(時間):プレゼンのリハーサルを行い何回も練習する。(60) 復習(時間):自分のプレゼンを振り返り、評価する。また次回の課題を確認する。(60)</p> <p>9-13回 オンライン英会話実践。 毎回参考図書からトピックを選び、そのトピックについて海外講師とディスカッションをしましょう。 予習(時間):トピックを決め、そのトピックについて書かれているスピーチをあらかじめ読んでおく、CDを聞きながら話せるよう練習しておく。(30) 復習(時間):スピーチで言えなかった部分や、間違えた箇所をログにつけ記録しておく。また講師</p> <p>14、1 ファイナルプレゼン準備 二週に渡り、第9回-第13回 のオンライン英会話実践で自分が話したスピーチのトピック、そこから得た知識や、講師から得た情報、また最終的にこの授業を履修したことで得た効果(ビフォア、アフター)などを発表します。パワーポイントでの資料作り、ドラフトを作成します。 予習(時間):ログを見て、今までの学習記録を振り返る。事前に配布される準備シートを作成しておく。(60) 復習(時間):プレゼンのリハーサルを行い何回も練習する。(60)</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	DP(短期大学部)の次の項目を意識した科目になっている。 3. 基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力 身につくスキル: デジタルリテラシー、発信力
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の文化や風習について海外の人に英語で簡単に説明ができる。</li> <li>●日本の文化や風習について海外の人からの質問に英語で答えることができる。</li> <li>●日本とは違う風習や文化に興味を持ち、理解ができる。</li> </ul>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミッドタームプレゼンに関してはその場でフィードバックを行います。</li> <li>●ファイナルプレゼンに関しては、学期終了後になりますが、必要な学生に対し個別でフィードバックを行います。ミッドタームプレゼンに関してはその場でフィードバックを行います。</li> </ul>
履修上の注意	この講義は集中講義です。第1回目のオリエンテーション、第7、8回目のミッドタームプレゼン準備、プレゼン実践、第14、15回のファイナルプレゼン準備以外は、個別に進めてもらう形になります。またオンライン英会話サービスに登録、入会、会費が別途月約5000円程度かかります(コースによって異なります。)無料ではありませんので注意してください。
成績評価の方法・基準	<p>ログ 30%</p> <p>ミッドタームプレゼン(それに伴う提出物) 30%</p> <p>ファイナルプレゼン(それに伴う提出物) 40%</p>
教科書	なし

参考書・教材	こちらで資料を用意します。
備考	
教員との連絡方法	「メール」、「オフィスアワー」、「Melly」 を利用してください。